

9号に続き接近 台風10号脅威

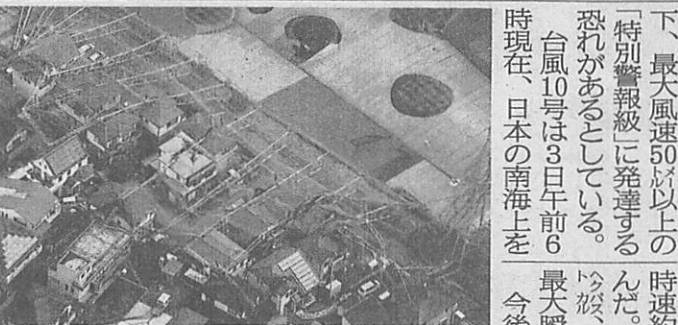
九州や沖縄を襲った台風9号に続き、台風10号「特別警戒級」に発達するにも最大限の警戒が必要だ。「過去最強級」の勢力で6〜7日にかけて奄美から西日本に接近、上陸の恐れがある。気象庁は中心気圧930以下を

伊勢湾「級」級今後も相次ぐ恐れ

九州や沖縄を襲った台風9号に続き、台風10号「特別警戒級」に発達するにも最大限の警戒が必要だ。「過去最強級」の勢力で6〜7日にかけて奄美から西日本に接近、上陸の恐れがある。気象庁は中心気圧930以下を

時速約20キロで西西北西に進んだ。中心気圧は975以下、最大風速は35ノット、最大瞬間風速は50ノット。今後、日本に上陸・通過時には、甚大な被害をもたらした1959年の伊勢湾台風並みの勢力に発達する見通し。

「過去に日本に上陸した最強勢力の台風に匹敵するかもしれない」と語るのは、横浜国立大学教授の筆保弘徳氏(気象学)。「日本近海の海面水温が、平年差でも2度ほど高くなっている。水蒸気が盛んに蒸発して、上空で雲になり、熱を放出して台風の気圧を下げるため、この海域を通過する台風は、ますます勢力が強くなるだろう」とみる。



昨年9月の台風15号では、千葉県市原市のゴルフ練習場が倒壊するなど大きな被害が出た。台風10号は週明けにかけて日本を通過する見通し。

「過去に日本に上陸した最強勢力の台風に匹敵するかもしれない」と語るのは、横浜国立大学教授の筆保弘徳氏(気象学)。「日本近海の海面水温が、平年差でも2度ほど高くなっている。水蒸気が盛んに蒸発して、上空で雲になり、熱を放出して台風の気圧を下げるため、この海域を通過する台風は、ますます勢力が強くなるだろう」とみる。

台風10号は週明けにかけて日本を通過する見通し。付近などにヘアピン状に

メジャー速報
米大リーグ機構は2日(日本時間3日)、8月

韓国

日本の首脳

「基本的姿勢に変化はないだろう」、岸田文雄政調会長は「安倍氏に比べると歴史問題などで少し柔軟な場合もある」と予測した。

一方、石破茂元幹事長については「アジア外交全般に対する基本的姿勢の変換を期待する余地が残っている」と期待感をのぞかせている。

2017年5月の東亜日報が、慰安婦問題をめぐって「(韓国で)納得を得るまで(日本は)謝罪するしかない」と述べたとするインタビュー記事を掲載。石破氏は発言を否定した。

龍谷大学教授の李相哲氏は「韓国では、石破氏が首相になれば関係が改善する」と分析した。

やはり誤嚥は侮れなかった。先月29日、誤嚥による嘔吐で救急搬送され入院した歌手で俳優、加山雄三(83)が、誤嚥でせき込んだため、軽度の小脳出血を発症していたのだ。当面の芸能活動を自粛することになった。

急性胃潰瘍で緊急入院していたことが明らかにしたのは俳優、古谷一行(76)写真。1日に自宅にて体調不良を訴え、家族が救急車を呼んで都内の病院に搬送された。

都内の病院に
古谷一行は

ダル月M
メジャー速報